



交通ルールを守りましょう!

～自転車ものれば車のなかまいり～

近年、自転車に関係する事故が増えており、自転車同士による交通死亡事故も発生しています。自転車に乗る方だけでなく、歩行者や車の運転者も自転車のルールを知り、安全を心がけましょう。
聞くらし安心課 ☎963-9185、☎86650



! 越谷で自転車の交通事故が多発

自転車死傷者数

令和5年
259人

県内
ワースト3位

人口1万人当たりの自転車死傷者数

令和5年
7.5人

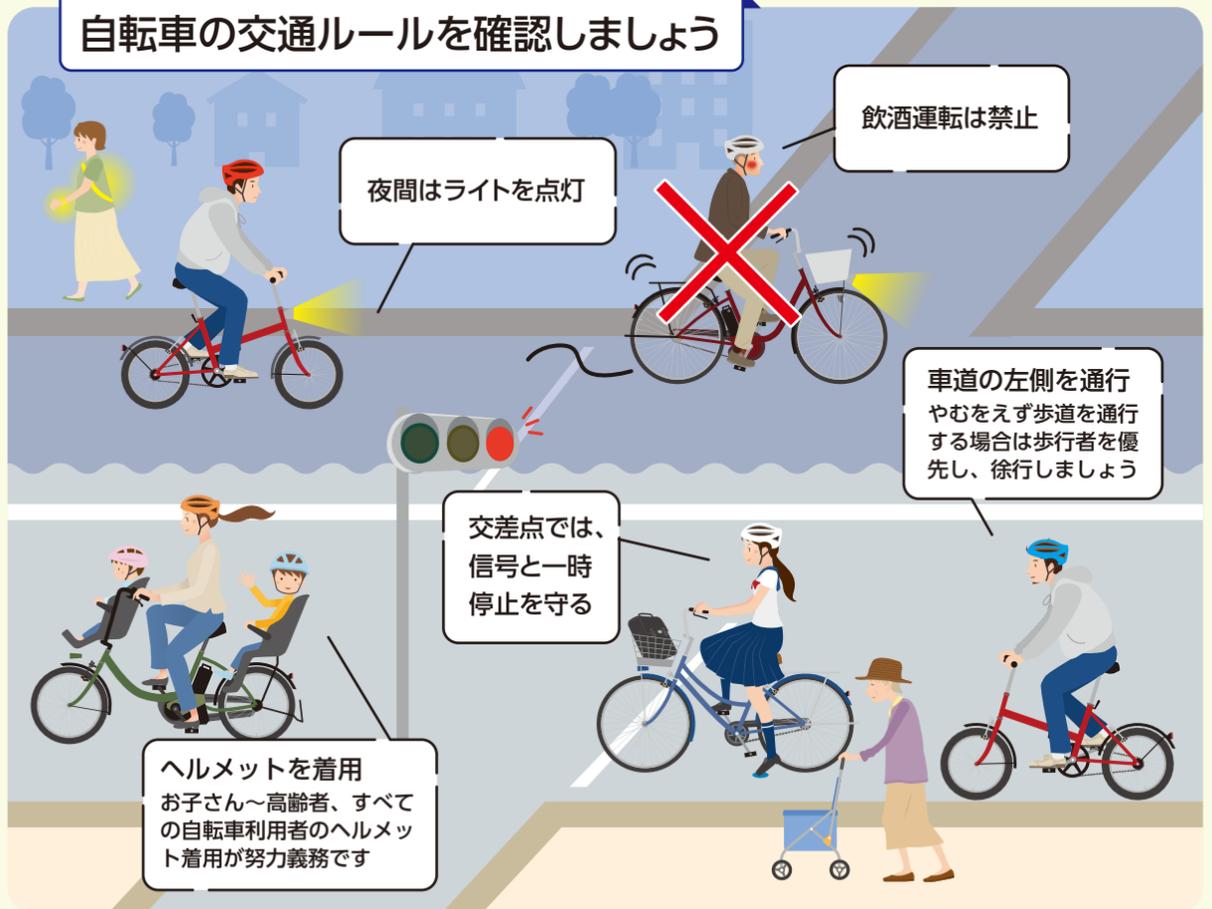
県内
ワースト11位

命を守るために
交通ルールを見直しましょう

放置自転車はけがの原因に

路上や店舗前などに自転車を放置すると、歩行者の通行や消防・救急活動の妨げとなります。点字ブロックを塞いだり、歩行者にけがを負わせたりすることもあります。

自転車の交通ルールを確認しましょう



野口富士男文庫開設30周年記念

『野口富士男戦前日記』の刊行を応援してください

本市ゆかりの作家

野口富士男(明治44年～平成5年)とは?



第二次世界大戦終戦後の一時期、妻の実家があった越ヶ谷町に住んだ作家です。代表作は『徳田秋聲傳』『わが荷風』『かくてありけり』『なぎの葉考』など。越谷を舞台にした『桃の花の記憶』『白鷺』『川のある平野』『うしろ姿』『薄ひざし』なども出版されています。

平成6年には、本・原稿・日記等約3万点の資料が、生前の誓約に基づいて市に寄贈されました。

野口富士男文庫は30周年を迎えます

野口富士男から資料が寄贈され、平成6年10月に、図書館に野口富士男文庫を開設しました。小冊子『野口富士男文庫』を11年から毎年刊行しています。23年には生誕100年記念『越ヶ谷日記』、26年には文庫開設20周年記念『越谷小説集』を刊行しました。毎年秋には、講演会と特別展を開催しています。



クラウドファンディングを実施中

図書館では野口富士男文庫開設30周年記念誌を作成します。実証を通し時代を見つめ続けた貴重な一冊を作るため、クラウドファンディングへのご協力をお願いします。

聞図書館 ☎965-2655、☎87114

日記文学として

貴重な作家研究の書として

克明な時代の記録として

読み応えのある

『野口富士男戦前日記』を作ります

野口富士男が残した膨大な日記のうち、昭和8年(野口富士男21歳)～19年(野口富士男33歳)の記録です。海軍応召中の日記『海軍日記』(現代社1958年、文藝春秋1982年、中公文庫2021年)と、戦後疎開中の日記『越ヶ谷日記』(越谷市教育委員会2011年)につながります。



寄付者の名前は、図書館の野口富士男文庫展示コーナーに掲示予定(希望者のみ)

『野口富士男戦前日記』への寄付をお願いします

募集期間 7月24日(水)まで

目標金額 100万円(総事業費280万円)

*寄付した方への返礼品はありません

クラウドファンディングはこちら▶

